

事務事業名	上下水道料金賦課徴収事務		会計	水道事業	実施区分	継続
			事業種別	経常	開始	終了
H29作成課等名	経営管理課	H29係等名	料金係	H28担当課等名	経営管理課	
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			
	施策	45	居住基盤の向上			
目的	対象(誰・何を)	上下水道の利用者			指標名及び単位	28年度数値
	意図(どういふ状態にするか)	上下水道料金の適正な賦課と確実な徴収を図る。			利用者数	45318
	向上させたい上位施策の成果指標	水道普及率(%)				
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	上下水道料金収納率		98.43	98.53	98.43
	成果指標	賦課誤り件数		-	7	-
定性目標						備考(指標変更など)
事業概要	<p>開閉栓の認定により上下水道利用者の特定を行う。 使用水量の検針から使用額を測定し、納入通知書の発行(口座振替依頼)、収納に至るまでの事務処理を正確・効率的に行う。 料金の未納者を極力減らすよう滞納整理を行う。</p>					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	1 納入の適正な管理 (1) 住所が不明な方へは、所在確認を行う。 (2) 分割納付中の方の納入の管理を適正に行う。 2 業務マニュアルを基本に、必要な事務を確実にを行う。 (1) 書類審査を厳格に行う。 (2) 月例の定例会を開催し、関係課の緊密な連携を確保する。 (3) 無届け、申請漏れの下水道接続を防止するため、検針員の確認と速やかな連絡を継続的に保つ。 (4) 指定工事店への協力要請、不正工事への厳格な処分を行う。			1 調査及び納入の依頼 2 再発防止策の実行		1 通年 2 通年
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足	
事業費計(千円)①	0	0	0	0		
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
一般財源						
人件費計(千円)②	10,728	10,728	10,728	0		
正規職員所要時間	3,000	3,000	3,000			
臨時職員所要時間						
総事業費①+②	10,728	10,728	10,728	0		
事業内容・目標達成状況の振り返り	分割納付中の利用者について、毎月、収納状況の確認を行なった。 28年4月1日から遅延損害金と延滞金の徴収が開始され、これまでに以上に期限内納付が必要となった。引き続き適正な債権管理に取り組んでいく。					
改革改善の考え方	①問題点	多様な未納者の存在 遅延損害金と延滞金が賦課されない28年3月31日までの債権と、4月1日以降の債権の扱い				
	②改革提案	経済状況等に応じて、個別に具体的な対応を行う。				